

三郷議会だより

Sango

第264号

令和7年11月1日発行

編集 奈良県生駒郡 三郷町議会／広報編集委員会・議会事務局
電話 (0745) 73-2101・(内線 293) 直通 (0745) 43-7371



ケーブルカーブルーライトアップ

9月23日は国連の定めた
「手話言語の国際デー」です。

「手話が言語である」ことを知って
もらうため、近鉄信貴山下駅前のケー
ブルカーがブルーライトアップされ
ました。

主な内容

- ◆ 一般質問 2～6
- ◆ 令和6年度歳入歳出決算 7
- ◆ 委員会の主な報告 8
- ◆ 三郷町議会基本条例 9
- ◆ 審議結果 10

毎月11日は『人権を確かめあう日』です。

支援を必要とする児童生徒へのサポートについて



高田 好子



その他の質問



発達障がい等がある児童生徒に対し、充実した特別支援教育の体制づくりが必要ではと考える。

「通級指導教室」の仕組みについて、また、現在、三郷町にない「通級指導教室」を地域校に設置することはできないか。

- 高齢者の活躍を推進する取組みについて
- 環境への取組みについて



通級指導教室は、学校において通常の学級での学習や生活に概ね参加でき、一部、特別な支援を必要とする児童生徒が別の教室に通級して、特性に応じた指導を受ける特別支援教育のひとつです。通級指導の対象は、弱視、難聴、言語障がい、自閉症、学習障がい、注意欠陥多動症などの特性があり、一定の支援を行うことで通常の学校生活での適応が可能となる児童生徒で、通級指導の必要性を対象児童生徒の行動観察などにより実態把握し、保護者の同意を得て、校内委員会で検討し、教育委員会が決定します。

なお、現在、本町で通級指導を受けている児童生徒は、放課後に平群町内の学校に通級しておりますが、慣れた環境で児童生徒の実情に応じた指導を安心して受けられる体制が必要であると考え、令和8年4月から町内小学校における通級指導教室の開設に向けて準備しています。

一斉防災訓練を兼ねた「防災キャンプ」の実施を



澤 美穂



その他の質問



先日、自治会単位で主催された防災キャンプへの招待を受け参加した際、防災委員の方々と防災について白熱した議論を交わした。三郷町自主防災ネットワークのメンバーから強い要望を受け、町の防災計画を実践する一斉防災訓練の実施を！

- 残骨灰の処分について
- 町制 60 周年の節目に不正を許さない三郷町宣言を



防災キャンプは、避難生活を疑似体験するだけでなく、トイレなどの「不便さ」を実感することで、真に必要な備えが見えてくることにもつながります。

また、近隣住民との交流も深まり、地域防災力の向上にもつながります。本町では、災害発生時に避難所を迅速に立ち上げるための「避難所開設キット」を本年度中の完成を目標に準備しています。また、国の交付金を活用して、簡易ベッド等も今後納入される予定で、これらの備品を活用し、来年度以降に避難所を開設する訓練の実施を予定しています。この訓練に合わせ、住民の一斉避難訓練を行うことも視野に、防災キャンプを兼ねた実施も含め、内容や方法などについても検討したいと考えています。また、本年度に納車される大型トイレカーのお披露目も兼ねて「防災イベント」の実施も予定しており、自主防災会の研修についても、現状の年1回でなく複数回取り組んでまいりたいと考えています。



木口屋 修三



透水性舗装採用の推進



舗装体内に雨水を浸透させる透水性舗装は、地下水の涵養^{かんよう}(※)、排水設備への流出量軽減、気温上昇抑制や水撥ね防止、地下水の枯渇防止等にも効果があることから、温暖化対策として透水性舗装採用推進を！

※地下水の涵養…雨水などが土中に浸透し、地下水として蓄えられること



今年の夏も大変暑い日が続いており、世界各地で大規模森林火災や熱波、巨大台風など、異常気象現象が頻発しています。

本町としても、地球温暖化対策は喫緊の課題であることは認識しており、ご提案の透水性舗装は、雨水を舗装の隙間から地面に浸透させ、地中還元、貯留、流出抑制やヒートアイランド現象の抑制効果等、環境への配慮が求められる状況においては、有用な手法であると認識しています。

一方、デメリットとしては、一般の舗装に比べ耐用年数が短く、目詰まりが生じやすいことから特殊な維持管理が必要です。さらに坂道では、雨水が舗装下の土壌を洗掘することで、陥没、ひび割れの原因となる場合がありますが、透水性舗装が持つ有益な環境効果に注目し、技術的な課題等を検討し、道路整備において町民の安全確保や継続可能な道路環境観点から、好ましい選択肢を模索してまいります。

ダンピング行為を防止するため、全ての業務に最低落札価格の設定を



入札業務において、昨年よりダンピングと思われる不当な低価格での落札が相次いでいる。ダンピング防止については国が注意喚起を行っている。ダンピングを防ぐため最低落札価格の設定をしていただきたい。



本町では、昨年より官製談合防止対策の一環として入札制度改革に取り組んでおります。その効果として、契約に対する透明性や公平性、競争性は格段に向上したと考えております。

本町ではダンピング対策として、一般競争入札を対象に最低落札価格の設定を行っておりますが、指名競争入札では入札に参加する業者を町が指名することから、不適格な業者を入札から排除できるため、最低落札価格は設定していません。

しかしながら、議員ご指摘の通り、除草や剪定業務で設計金額を大きく下回る落札があるのは事実であります。直接ダンピングの影響とは断定できませんが、手直し指示が必要な業務も起こっており、それによる職員の負担があるのも事実です。

これらのことを踏まえ、今後も低入札などが続くようであれば対応を検討していきたいと考えております。



南田 善紀



性教育の取組について



神崎 静代



文科省は性暴力をなくすためとして「生命の安全教育」を進めているが、性交に触れておらず不十分という声もある。世界では、人権尊重を基盤に「包括的性教育」が広がっている。三郷町の性教育の現状と今後の方針は。

その他の質問

・個別避難計画策定について



奈良県では、本年2月に「教職員のための性に関する指導ハンドブック」を策定し、「包括的性教育」にある「人間関係」「健康とウェルビーイングのためのスキル」「セクシュアリティと性的行動」など8つのキーコンセプトに対応する内容が盛り込まれています。本町でも本ハンドブックに基づき、「包括的性教育」を実施しており、今後も実施していきます。

また、本町の幼稚園や保育園では、わかりやすい絵本を用いて、「自分の体は一番大切」ということをしっかり伝えていきます。年齢や発達段階に応じ、「命の大切さ」や「体のちがい」「プライベートゾーン」「プライベートゾーン」について学ぶ機会を取り入れ、プライベートゾーンは「見せちゃいけない、さわらせちゃいけない」「はつきりノーと言えること」をしっかりと伝え、自己防衛にも努めています。

校外フリースクール「ふらっと」について



吉村 今日子



昨年10月より、不登校児の居場所「ふらっと」が始まった。今年7月から図書館の一室を利用して平日、開催されるようになったが、利用状況や運営、学校等との連携はどのようにしているのか。

その他の質問

・町長交際費について



本年7月より毎週火曜日・金曜日に開所する、公設フリースクール「ふらっと」を開設し、NPO法人「親子広場さんごう」に運営を委託しています。実施体制は「親子広場さんごう」のスタッフのほか、教員を目指す大学生スタッフや教員免許を持つスタッフ及び作業療法士となっています。大学生スタッフは子どもたちと年齢も近く、大変好評です。利用には登録が必要で、現在13名の登録があり、1日平均6名の出席があります。子どもたちが「ふらっと」に來た日は、その都度、教職員と連絡をとるほか、毎月1回、教職員とスタッフで情報共有する機会を設けています。また、教職員が直接、子どもたちの様子を見に来るなど、学校及び教職員とも密に連携を図っています。なお、「ふらっと」への登校は、所属校での「出席扱い」としており、自立に向けて懸命に努力する子どもたちのモチベーションに繋がると考えています。

老朽空き家の現状と今後の取り組みについて



奥山 一臣



現状、三郷町内において発生する空き家の把握及び危険な特定空き家を発生させない為の取り組みは？高齢化が進み単身高齢者世帯が1300軒を超える今だからこそ、将来に向けた新たな空き家対策が必要だと考えるが、町の考えは？



現状、空き家の把握は、管理不全などで住民から苦情

や対応依頼があった場合に、職員が現地調査を行っており、空き家バンク登録があるものも合わせる。令和7年4月現在で153軒の空き家があります。また、危険な特定空き家を発生させないための取り組みとして、「空き家等の適正管理に関する条例」に基づき、所有者に除草等の適正な管理を依頼し、助言と指導を行っています。ご提案の空き家活用についてですが、空き家を地域のコミュニティスペースやサテライトオフィス、シェアオフィスなど、新たな用途として活用すれば地域活性化に繋がる可能性は大いにあります。しかし、現状は所有者との調整の難しさや財政面、運営主体の確保に課題があることから、まずは、現状の空き家対策をブラッシュアップしながら新たな活用についても他の市町村の事例等も参考にし、研究していきます。

川の駅「日本遺産ビジターセンター 亀の瀬東口駅」について



南 真紀



当施設（建設中）の地元住民へのメリット及び観光客への多言語対応や荷物置場、駅からの送迎等はどう考えているか。また、川下りを予定しているが、大和川の水質の安全性や川の駅のPRの方法とオープン予定は？



この地域は周辺の観光エリアを結ぶ拠点として、今後、

大和川の川下りなどを通じて地域の特色を活かして交流人口を増やし、地域を活気づける契機になると考えております。また、住民の皆様にとっても、地域の活性化により、生活の様々なシーンにおける選択肢が増えるものと考えます。なお、インバウンド対応としては、翻訳ツールも活用し、外国語ができるスタッフの育成に取り組み、また、手荷物や移動手段は、施設内での荷物一時預かりサービスやシェアサイクル事業を検討しています。PRについては、川下りを鉄道や国道から見えるようにし、案内看板の設置等も検討します。なお、大和川の水質は、過去10年間で水質改善河川全国1位になっています。オープン時期は令和8年5月頃を予定しており、国の交付金も活用し、観光と環境が両立する施設整備を行ってまいります。

子ども宅食の支援について



辰己 圭一



子ども宅食とは、困りごとを抱えている子育て中のご家庭に食品などをお届けし、支援を行う事業である。つらい状況でも声を上げられず孤立する家庭が増加している中、本町においても支援が必要だと思うが、町の考えは。

A

厚生労働省によりますと、「ひとり親世帯の貧困率」

は、約45%に達し、物価高騰のありを受け、今後増加傾向にあると予測されています。

このような中、子育て世帯やひとり親世帯を対象に食事の提供や居場所づくりといった取り組みが全国的に広がっています。

本町においても、社会福祉協議会を通じて、ボランティアの方々の協力を賜り、令和5年度より『35こども食堂』をスタートし、食事・食品の提供や居場所づくりにも寄与しているところです。

また、妊娠期から子育て期にわたり相談支援体制を構築し、アウトリーチによる支援も行っており、特に生活困窮や障がい・精神等に関する支援、いじめ・不登校・児童虐待など、担当所管それぞれの役割のもと、様々な対応を行っています。このような現状を踏まえ、関係機関等との協議も必要となることから、子ども宅食の支援については、少しお時間を頂き、調査研究を行い、検討してまいります。

「OTC類似医薬品保険適用除外の中止を求める意見書」

議 決
第9号

(修正後：「OTC類似医薬品保険適用除外の議論を慎重に進めることを求める意見書」)

OTC類似薬の保険適用除外は、自己判断で市販薬を使用することなど、逆に健康を損ねることになりかねません。

また、子どもの医療費助成制度があったとしても、OTC医薬品を購入しなくなることによって、せっかくの助成制度が無意味になります。

さらに、難病で医療費助成の対象となっている患者の場合、長期にわたりOTC類似薬の必要な患者もあり、負担が大きくなります。

このことから、すべての国民に必要な医療が給付されるよう、「OTC類似医薬品保険適用除外の議論を慎重に進めることを求める意見書」を全会一致で可決し、関係機関に提出しました。

意見書は
コチラ



議 決
会 の う ご き

9 月

3日 第3回定例会本会議
5日・8日 予算・決算特別委員会
9日 総務建設常任委員会
10日 文教厚生常任委員会
12日 全員協議会・本会議
18日 例月現金出納検査

10 月

7日 北葛城郡・生駒郡
町議会議員合同研修会
8日 公の施設指定管理者監査
15日 生駒郡町議会議長会
16日 例月現金出納検査
27日 奈良県町村議会議長会
全議員研修会
28日
29日 王寺周辺広域市町村圏
議長会視察研修

令和6年度 歳入歳出決算



令和6年度の主要な事業



インクルーシブ拠点

奈良おもちゃ美術館の整備

木育推進型インクルーシブ拠点施設整備事業として、木育をテーマとした交流体験型ミュージアムや児童書を中心としたライブラリーカフェ等を配置した「奈良おもちゃ美術館」を整備し、令和7年3月にオープンしました。

美しいまちづくり

ごみ中継施設等の整備

令和7年度の新広域ごみ処理施設稼働に向け、令和5年度から6年度にかけて、新たにごみ中継施設を整備しました。



災害に強いまちへ

惣持寺地区調整池の整備

浸水被害にたびたび見舞われてきた惣持寺地区に1万6500立方メートルの地下式調整池を令和4年度から6年度の3か年事業で整備しました。



委員会の主な報告

予算・決算特別委員会

開会日 9月5日(金)・8日(月)

午前9時30分～

総務建設常任委員会

開会日 9月9日(火)

午前9時30分～

文教厚生常任委員会

開会日 9月10日(水)

午前9時30分～

同意第3号

固定資産評価審査委員会委員の
選任につき同意を求めることに
ついて

(全会一致原案同意)

氏名 太田 洋士 氏

同意第4号

教育委員会委員の任命につき同
意を求めることについて

(全会一致原案同意)

氏名 秋田 知美 氏



認定第1号

令和6年度三郷町一般会計、特
別会計歳入歳出決算の認定につ
いて

(賛成多数原案認定)

Q ため池の防災対策として設置さ
れている、大池・亀池の監視カ
メラの画像について、一般の人でも
スマートフォン等で見る事ができ
るのか？

A 町のホームページに載せており
ますので、スマートフォン等で
どなたでも見る事ができます。

報告第7号

三郷町教育委員会の権限に属す
る事務の管理及び執行の状況の
点検及び評価の結果について

Q 「保幼小架け橋プログラム」に
ついて。

A 幼児教育と小学校教育の接続に
ついて文部科学省が推進してい
るプログラムです。5歳児から小学
校1年生までの2年間で「架け橋」
の期間として、保幼小で連携及び情
報共有しながら、子どもたちを見
守っていくことを目的としたもの
です。

本町では職員間の担当者会議を行

い、それぞれの現場の状況を確認し
ながら2年間のカリキュラムを作っ
ていきます。

その他の質問

Q 町から全町民に交付したバニラ
カードが「使いにくい」という
声が多かった。「バニラギフトV
ISAカード」を選定した経緯は。

A 物価高騰対応重点支援地方創生
臨時交付金を活用して、6月か
ら7月にかけて、全町民の方に当該
ギフトカードを配布しました。過去
に実施した水道基本料金の減免を検
討しましたが、水道事業が広域化さ
れたため、町単独では実施できま
せんでした。また、以前に配布した地
域振興券は、多額の事務経費がか
かり、住民の皆様にお渡しできる額が
相当減額されてしまうこと、また、
今回、使用期限を設けるように国か
ら条件が付されていたことなどの理
由から、県内でも採用実績のあった
バニラカードを選定したものです。

なお、利用する店舗等によっては現
金併用ができず使いにくいといった
お声も届いておりますが、3000
円以内なら何度でも使用できるとい
うこともあり、物価高騰対
策の一助にいただければと考え
ています。

※当該ギフトカードの公式サイトで
「残高を使い切る方法」も紹介され
ていますので、下記
の二次元コードもご
参照ください。



Q 町内で大きな倒木が続いている
が、町の管理方法や所有者への
周知はどうしているか。

また、先日倒木による停電につ
いて、今後こういった停電があつた
場合、自治会館やエアコンのある場
所への避難誘導などはできないか。
A 危険木については、通報があれ
ば所有者に文書通知しています
が、所有者による迅速な対応が困難
な場合などについては、他市町村の
取り組みを参考にしながら、状況に
応じた対応を検討していきたいと考
えています。

なお、先日の停電については、勢
野東6丁目での倒木により、電線が
切断されたことによるもので、関西
電力に現場復旧の要請をしましたが、
現場周辺の数軒については、復旧が
遅れ、7時30分頃から20時頃まで停
電したため、夏の暑い時期であつ
たことから、町が開設しているク
ーリングシェルターに避難誘導しまし
た。今後も万が一の事態に備え、適
切な対応について検討していきます。

～町民の信託にこたえられる

議会をめざして

「三郷町議会基本条例」を制定～



三郷町議会は、今定例会において「三郷町議会基本条例」を全会一致で可決し、10月1日に施行することになりました。

全議員で2年以上の時間を費やし協議を重ね、議会としてあるべき姿を条例としてまとめました。町民の皆様にもご理解いただくため、その内容をご紹介します。

条例の7つのポイント

- 町民にわかりやすく、開かれた議会をめざします。
- 町民全体の福祉の向上のために活動します。
- 政治倫理やコンプライアンスを遵守します。
- 議員相互の自由討議を尽くして、合意形成に努めます。
- 議会活動の情報を公開し、説明責任を果たします。
- 町民の皆様に関心を持っていただき、議会活動を広く知っていただくための広報に努めます。
- 災害発生時、災害対策に貢献するため、議会としての災害対策体制を構築します。

議会基本条例とは？

「議会基本条例ってなに？」「自分たちにどう関係があるの？」という疑問を多くの町民の皆様が持ちなのではないでしょうか。

町議会は、町長が適切に町政運営を行っているかをチェックし、予算や条例などを適正及び公正さについて審査し、判断した上で、決定します。また、町民の皆様の願いを少しでも多く実現するため、必要に応じて町長に対して政策の提言を行い、また、国や関係機関などに意見書を提出します。

三郷町議会は、議会の機能を発揮するため、これまで議会運営のあらゆる分野で、町民に開かれた議会、議員間の自由な討議など、様々な活動を行ってきました。この議会基本条例は、これまで積み上げてきた議会運営の基本的な考え方やルールを整理し、理念条例として策定したものです。

また、三郷町議会が町政のさらなる発展に寄与するため、本条例を議会の最高規範として、議会運営のあり方、そして議会及び議員の活動原則や町政への町民参加を推進することを明文化したものです。

ぜひ、ご一読ください。



三郷町議会基本条例（前文のみ抜粋）

地方分権の進展により、地方自治体の果たす役割がますます重要となる状況下で、地域が抱える様々な課題解決と町民の福祉向上に向け、二代表制の一翼である議会に課せられた役割と責務も重要性を増しており、町民の意思を的確に反映し、地域の課題を主体的に議論し、政策立案や行政評価を通じて、これまで以上に町民の信託に応える責務が求められている。

三郷町議会は、様々な観点から町政発展のために取り組んできたが、これまで積み上げてきた実績を糧に、時代の流れに即した議会の機能を更に発揮し、町民と協働で考えるまちづくりの推進と公正で開かれた議会を構築するためには、議会及び議員がその使命と役割を自覚し、積極的な情報発信と説明責任を果たすべく不断の議会改革を進め、行動の規範となるべき原則を明確にする必要がある。

よって三郷町議会は、議会及び議員の活動及び議会運営に関する基本的な事項をここに定め、より一層、町民の信託にこたえられる議会をめざし、この条例を制定する。

審 議 結 果

○：賛成 ●：反対

※原則、議長は可否同数の場合のみ採決に加わります。

令和7年第3回（9月）定例会（令和7年9月3日～12日）											
議 案	審議結果	神 崎	吉 村	南 田	南	高 田	奥 山	澤	辰 己	木 口 屋	伊 藤
固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和7年度三郷町一般会計補正予算（第3号）の専決処分について	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和6年度三郷町一般会計、特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	●	●	○	○	○	○	○	○	○	
令和6年度三郷町下水道事業会計決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和6年度三郷町水道事業会計決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和6年度奈良県住宅新築資金等貸付金回収管理組合市町村特別会計（三郷町）歳入歳出決算認定について	原案認定	●	●	○	○	○	○	○	○	○	
令和7年度三郷町一般会計補正予算（第4号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和7年度三郷町し尿浄化槽管理特別会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和7年度三郷町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和7年度三郷町介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和7年度三郷町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和6年度三郷町下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
三郷町職員の旅費に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
三郷町火入れに関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和7年度三郷町浸水対策下水道雨水管築造工事（勢野東2工区）請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
財産の取得について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和6年度三郷町の財政の健全化判断比率について	報告受理	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
令和6年度三郷町下水道事業会計に係る資金不足比率について	報告受理	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
令和6年度三郷町水道事業会計に係る資金不足比率について	報告受理	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
三郷町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果について	報告受理	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
公益財団法人三郷町文化振興財団の経営状況について	報告受理	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
令和6年度ふるさと寄附金について	報告受理	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
寄附の受け入れについて	報告受理	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
【発議】「OTC 類似医薬品保険適用除外の中止を求める意見書」（修正後：「OTC 類似医薬品保険適用除外の議論を慎重に進めることを求める意見書」）	修正可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
【発議】三郷町議会基本条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※発議は、議員提案の議案です。